Trinity

キズナエピソード\_大鳥蒼\_05

------------------------------------------

//ADV形式開始

//背景:蒼の自室

［蒼］

「！　とびおか……」

［蒼］

「……

もう何度も連絡を無視しているのに

それでも送ってくるとは、あいつもなかなか根性があるな」

［蒼］

「お互い幸せになれる恋……」

［蒼］

「……だめだ、どうしても答えが出ない……」

［蒼］

「っと、もうこんな時間か。

本当の恋人を待たせるわけにはいかないな。

……本当の、恋人……か……」

//暗転

//背景:渋谷

［女の子］

「蒼さん、今日は誘ってくれてありがとうございます！

私超楽しみにしてました！」

［蒼］

「オレもだよ。

確かSF映画が好きだったよな？

だから、今日は映画館にいこうと思う。どうだ？」

［女の子］

「覚えててくれたんですね！

蒼さんが私の為に考えてくれたなんて……。

超嬉しいです！」

［蒼］

「いや、教えて、もらったんだ……。

……開演まで少しある。

買い物でもしようか」

［女の子］

「はいっ！」

//暗転

［女の子］

「この服絶対蒼さんに似合いますよ！

超カワイイ！」

［蒼］

「ちょっとフリフリすぎじゃないか……？」

［女の子］

「そこがいいんですってば！」

//暗転

［女の子］

「映画超面白かったですね！

私感動しちゃいました！」

［蒼］

「そうだな……」

［女の子］

「フフフ。

蒼さんと隣に並んで歩いているだけで

私楽しいです」

［蒼］

「そうか……」

//暗転

//背景:女の子の家

［女の子］

「今日は疲れましたね～。

楽しくて、はしゃぎ過ぎちゃいました」

［蒼］

「そう……だな……」

［女の子］

「なので、ゆっくりしていってくださいね」

［蒼］

「……ああ、ありがとう、助かる」

［女の子］

「蒼さん、疲れましたか？

だいぶ元気がないようですが」

［蒼］

「まぁな。いろいろ歩き回ったし」

［女の子］

「じゃあ、私が元気が出るおまじないを

してあげます。

目をつむってください」

［蒼］

「ん？　これでいいのか？」

［蒼］

「ん!?　んん!?　ンンっ！」

［女の子］

「んはぁ……蒼さんの唇やわらかい……。

私達、恋人ですよね？

それなら私と続き、しましょう？」

［蒼］

「な、なにを……？」

［女の子］

「なにって……恋人が部屋でする事は

一つしかないじゃないですか……。

蒼さんは楽にしてていいですから……可愛い……」

［蒼］

「や、やめろっ！」

［女の子］

「きゃっ!?

……ひどいです！」

［女の子］

「……

先輩でも、

涙目になることあるんですね」

［女の子］

「本当は分かってました……

他に好きな人がいるんですよね。

今日ずっと、申し訳なさそうな顔をしてましたから」

［女の子］

「ただ、私それに気づいてから……

本当に超悔しくて……。蒼さんは私の恋人なのに、

……心は別の誰かのものだなんて、残酷すぎます……！」

［女の子］

「だから無理やりにでも、

最後に愛してもらおうと思ったのですけど、

結局、悪あがきでしたね……」

［蒼］

「すまない……。

オレが中途半端な気持ちなせいで

傷付けてしまったな……」

［女の子］

「……今すぐ消えてください。

ぐすっ……ずるい人は、嫌いですから！

ううっ、うううぅ……」

［蒼］

「すまない……

本当に、すまない……」

//暗転

//背景:とある道

［蒼］

（オレは何て最低なんだ……

責任を取るとか言っておきながら、振り回しただけで、

結果、彼女の心を深く傷つけてしまった……）

［蒼］

「こういうとき、

とびおなら、何て言ってくれるんだろう……」

［蒼］

「……！　後輩を傷つけたばかりなのに、

なぜとびおの事ばかり考えているんだ！

本当に最低だ……」

［蒼］

「とびおだってそうだ。

結局オレの身勝手な理由で振り回してしまっている……

いつからオレは、こんなに弱くなったんだ……」

［蒼］

「これ以上はもう、誰にも迷惑はかけられない。

……けじめをつけて、全て終わりにしよう。

恋愛なんて、やはりオレには無理だったんだ……」

［蒼］

「……ん？　家の前に誰か……」

［蒼］

「……とびお!?」

//4話END